

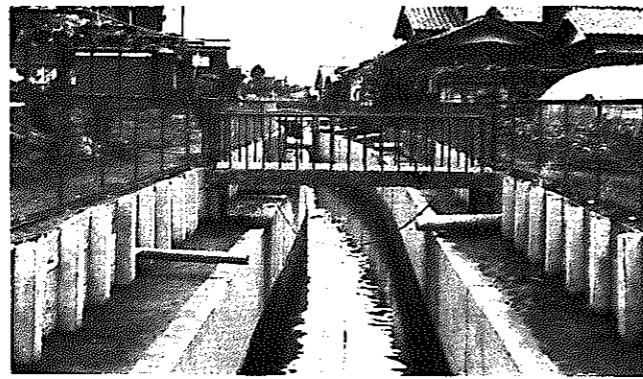
都市下水路計画図

このように進められてきた同事業も、すでに七年を経過し、これまでに使われた費用は、約五億五千万円にもなります。五十三年度以降も西幹線の改良をはじめ東幹線の新設、残りのポンプの取り付けなど、まだまだ大きな事業がひかえています。これらを合わせると、完成予定の六十年までには約二十一億円。場合によってはこ

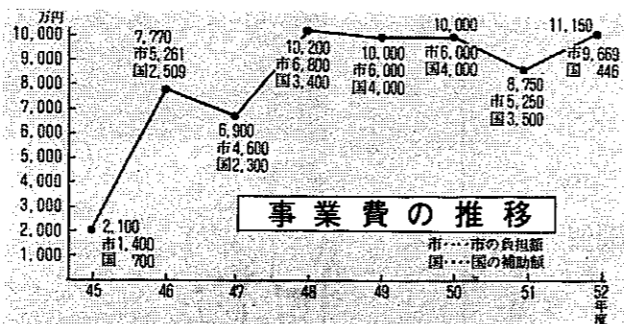
須藤小路からはボックス式

ら進められ、四ツ興野地内までの四百九・五畝が完了。草の生いしげった水路が、コンクリート三面ばかりに改良されました。今年度は、さらに約一億一千万円の事業費で、能登地内まで改良を予定しています

れ以上の巨費がこの事業に使われ、環境の整ったまちづくりに一歩前進します。とくに、須藤小路から日の出町までの間は、ボックス(暗きょ)方式になる計画です。汚水は地下を流れ、子どもが水路に落ちるなどの心配もなくなります。ゴミは水路に捨てないで、事業が完成するまでは、排水路の泥あげや、たん水か所にポンプを取り付けるなどして、「一秒でも水の引きを早くしよう」と努力しています。皆さんからも、水がスムーズに流れるよう、ゴミを水路に捨てたりしないよう、ご理解と協力を、お願いします。ポンプの故障にもなりますので……。



■工事完了—清潔な水路に変身です



快適な生活をするために

たしかな足どり

浸水地域の解消をめざす下水路整備

計画策定まで

計画の内容

市街地には、宅地専用の排水路はなく、ずっと農業用の排水路にたよってきました。しかしながら(1)宅地排水用につくっていない。②市街地は中ノ口川の水位より低い。③道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。④道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。⑤道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。⑥道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。⑦道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。⑧道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。⑨道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。⑩道路が舗装となり、雨が鉄砲水のように流れる。

計画は、二十年から四十一年までの新潟地方気象台の標準降雨強度から、一時間当たりの雨量を三十二・九と想定し、これに対応できる排水処理施設を整備しようというものです。統計的にはこの雨量は約四・四年に一回想定され、これに伴う施設として、千バポンプ四台と四百五十バポンプ一台を備えたポンプ場を、能登地内に建設。しかしながら、ポンプ場の能力を最大限に引き出すためには、排水路の整備がもっとも重要です。そのため、白根排水路を西幹線として改良し、新しく国道の東に排水路(東幹線)をつくります。その延長は、両幹線を合わせ四千四百七十六・八畝となっています。

工事は四十五年度から始められ、すでに能登ポンプ場は五十一年に完成。千バポンプ二台と四百五十バポンプ一台が備え付けられか動いています。排水路整備も四十七年度か

60年までに約21億円を投入

動いています。排水路整備も四十七年度か



■工事中



■工事前—草の生いしげった水路

環境の整った、安全な町づくりをめざし、昭和45年度から取り組んでいる都市下水路整備事業も、今年度で8年目を迎えました。たしかなどりで、工事が進められています。

これまでの経過

- 四十二年度 測量などの具体的な計画づくりを始める。
- 四十四年度 四十四年五月十二日、都市計画事業として建設大臣から計画決定を受ける。同年六月、県知事あてに事業認可の申請。四十五年九月十二日認可を受ける。
- 四十五年 工事現場の調査設計、用地買収に着手。
- 四十六年度 沈砂池、ポンプ場基礎工事。
- 四十八年度 ポンプ場上屋建築。四百五十バポンプ設置。
- 四十九年度 千バポンプ設置。
- 五十年度 千バポンプ二台目設置。排水路整備。
- 五十一年度 排水路整備。